## 医療相談センターによく寄せられる相談事例

	区原伯談 ピノブーによく可じりれる伯談手が .		
	O		
	どのようなことが相談できます か。	最寄りの医療機関が知りたい、医療費や制度に関する問合せ先が知りたい、受診に関する心配ごとといった医療に関する相談をお受けしています。 医療相談センターでは、中立的な立場から、助言や他の相談窓口の紹介などの情報提供を行っています。	
1		次のことは、医療相談センターでは対応できませんのでご了承願います。 <対応できない内容> 〇話し合いの場への同席や、トラブルに関する仲裁・調停	
		○医師の診断や診察内容の適否、治療の妥当性、検査の必要性等についての判断 ○医療行為に関する過失の有無、責任の所在についての判断 ○医療機関(医療従事者)に対する指導	
	医師や看護師から受けた説明 の内容がよく分からなかったので	分からないことや不安なことは、遠慮せず医師・看護師など医療機関の職員に尋ねてみま しょう。	
2	すが…。	その際は、質問事項をメモして、それを見ながら質問するとよいでしょう。 医師の説明をメモしながら聞くと、後から確認するのに役立つこともあります。	
		自分ひとりでは自信がない場合は、家族や信頼できる方に同席してもらうこともよいかと思います。	
3	医師の診断や診察内容に疑 問があります。希望する治療が受 けられません。	医療相談センターでは医師の診断や診察内容、治療の必要性等について判断できません。 疑問に思う点は医師に尋ねてみましょう。	
4	処方された薬が効かないのです が。	医師の指示どおりに服用しても効果が感じられない場合は、医師に相談してみましょう。	
	医療ミスを疑っているのですが。	医療相談センターでは医療行為の是非や過失の有無、責任の所在について判断できません。また、話し合いの場への同席や仲裁・調停行為もできません。 当事者間の話し合いが基本となりますので、直接医療機関に連絡し、詳しい説明を求めてみましょう。説明・話し合いの場には、できるだけ家族や信頼できる方に同席してもらい、メモ	
5		を取りながら参加するとよいでしょう。 病院の場合は、院内の患者相談室等に相談し、話し合いの調整を依頼する方法もあります。	
		当事者間の話し合いで解決できない場合や、法的な解決を希望する場合は、弁護士等にご相談ください。	
6	理由が分からないまま診療を拒 否されたのですが。	医療機関に対し、診療できない理由を尋ねてみましょう。	
	複数の病院で診察を受けましたが、なかなか良くならないので、	医療相談センターでは医療機関の評価を行っていないため、受診を推奨するような特定の 医療機関をお答えすることはできません。	
7	おすすめの病院を教えてください。	「医療情報ネット(ナビイ)」等ウェブサイトから検索し、最寄り又はご希望の条件(診療科など)に沿った医療機関をご案内します。	
		○医療情報ネット (ナビイ) 	
	お腹が痛いのですが盲腸でしょうか。 頭が痛いのですが脳梗塞の可	医療相談センターでは医学的な判断ができませんので、かかりつけ医に相談するか、最寄りの医療機関を受診しましょう。 なお、受診の必要性や救急車の要請等について判断に迷う場合は、福島県救急電話相	
8	能性はありますか。	びの、文珍の必安住や救急車の安請等にプいて判断に述り場合は、福島県救急電話相談(#7119)や福島県こども救急電話相談(#8000)をご利用ください。	
		<ul><li>○福島県救急電話相談(#7119)</li><li>○福島県ごども救急電話相談(#8000)</li></ul>	
9	では「B」という情報を目にした	情報があふれる現代においては、健康や医療に関する正しい情報を入手し、理解して活用する能力が求められます。なかでも、信頼できる情報源を見極める目を養う必要があります。 治療内容や服薬など、提供される医療について分からないことがあれば、遠慮せず受診した 医療機関の医師・看護師や薬局の薬剤師などに直接尋ねて、疑問や不安を解消しましょう。	